

## 第41回 宇宙科学・探査小委員会 議事要旨

1. 日時：令和2年10月20日（水） 10：00－11：00

2. 場所：宇宙開発戦略推進事務局大会議室

3. 出席者

(1) 委員

松井座長、常田座長代理、関委員、永田委員、永原委員、竜木委員

(2) 事務局（宇宙開発戦略推進事務局）

松尾局長、岡村審議官、川口参事官、吉田参事官

(3) 関係省庁等

文部科学省研究開発局宇宙開発利用課

藤吉課長

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）

國中理事

宇宙科学研究所

藤本副所長

4. 議事要旨

(1) 宇宙科学・探査に係る令和3年度概算要求について

文部科学省から資料1を用いて説明があった。

委員からは、以下のような意見があった。

(○：意見等 ●：事務局・文部科学省・JAXAからの回答)

○概算要求について、優先順位はどうなっているかのか。

●打上げ年度の近いものは優先順位が高い。また、JUICE や Hera といった戦略的海外共同計画は、少額でもしっかりと確保していきたい。技術のフロントローディングは、将来の芽出しとなる大事な予算と認識。財政当局の理解を得られるよう努めてまいりたい。

○これから、小型、中型をしっかりとしていくという方針を踏まえた予算要求と理解。

(2) 宇宙科学・探査プログラムの進め方及びプロジェクトの進捗状況について  
JAXAから資料2を用いて説明があった。

委員からは、以下のような意見があった。

(○：意見等 ●：事務局・文部科学省・JAXAからの回答)

○予算規模等から、大型は国際協力でやらざるを得ない状況の中で、日本がどのように戦略的に進めていくかが非常に重要。

○技術が進歩が早いため、ミッション期間が長すぎると時期を逸してしまう。また、地上の天文学の大型計画と宇宙の大型計画のリンクageが昔より強くなっていることも考慮が必要。

○ISASの組織マネジメントや科学コミュニティとの関わり方が課題。

以上